

(別紙報告様式)

鳥獣被害防止総合対策事業の評価報告(令和2年度報告)

市町名: 府中市

1 事業評価報告

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始 時期	利用率・ 稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績						事業実施主体の評価
										被害金額			被害面積			
										目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	
府中市有害鳥獣捕獲協議会	市内全域	H29年度	イノシシ	個体数調整(箱わな購入)	大 6基 小 2基	府中市有害鳥獣捕獲協議会	9月5日	100	捕獲頭数を増やし、イノシシの被害の軽減を図ることができた。	336万円	303万円	110%	2.50ha	3.10ha	76%	市内全域で効率的に箱わなを活用することで捕獲体制の拡充を図ることができた。 市内全域で効率的に小型獣用箱わなを活用することで小型獣の捕獲増を図ることができた。 市内全域で効率的に箱わなを活用することで捕獲体制の拡充を図ることができた。 市内全域で効率的に小型獣用箱わなを活用することで小型獣の捕獲増を図ることができた。 市内全域で効率的に箱わなを活用することで捕獲体制の拡充を図ることができた。
			小動物	個体数調整(小型獣用箱わな購入)	8基		9月5日	100	捕獲頭数を増やし、小型獣の被害の軽減を図ることができた。	9万円	5万円	144%	0.03ha	0.06ha	40%	
		H30年度	イノシシ	個体数調整(箱わな購入)	10基		9月25日	100	捕獲頭数を増やし、イノシシの被害の軽減を図ることができた。	336万円	590万円	24%	2.50ha	6.20ha	-48%	
			小動物	個体数調整(小型獣用箱わな購入)	13基		9月25日	100	捕獲頭数を増やし、小型獣の被害の軽減を図ることができた。	9万円	4万円	156%	0.03ha	0.04ha	80%	
		R元年度	イノシシ	個体数調整(箱わな購入)	10基		11月11日	100	捕獲頭数を増やし、イノシシの被害の軽減を図ることができた。	336万円	475万円	59%	2.50ha	5.10ha	-4%	
			小動物							9万円	2.2万円	176%	0.03ha	0.02ha	120%	

注1)被害金額及び被害面積の目標欄については、対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載してください。

注2)達成率の算出方法については「実績値(=基準年値-実績値)/目標値(=基準年値-目標値)」であるとして算出してください。

2 第三者の意見

コメント: 東部農林水産事務所 林務課 自然保護係長 多賀谷篤  
 導入された箱わなの利用率・稼働率が高く、鳥獣被害防止対策として一定の効果を発揮していると判断できます。しかしながら、平成30年、令和元年度と被害金額・面積ともに、実績値が目標値を上回っていることから、更なる対策を期待します。

注) 第三者の名前・所属・役職等を記載のこと。